

北興化学工業(株)が開発した新規拡散型製剤「楽粒<sup>®</sup>」

第三弾としてMY-100含有の  
新規水稲用初中期一発除草剤  
「ルンバ<sup>®</sup>楽粒<sup>®</sup>」が登場

「ルンバ楽粒」は、オキサジクロメホン (MY-100)、ブロモブチド、フロルピラウキシフェンベンジルを含有した新しい水稲用初中期一発除草剤です。本剤は、北興化学工業(株)が開発した独自の新規拡散型製剤であり、省力化に貢献する除草剤として2024年シーズンから販売を開始しています (販売元：北興化学工業(株))。

「ルンバ楽粒」の特長

①ノビエに対する長い残効性

本剤は、ノビエに対して残効の長い「オキサジクロメホン」を含有し

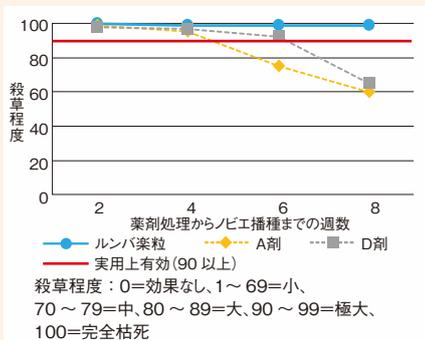


図1 ノビエに対する残効 (全農 営農・技術センター 2022年ポット試験)

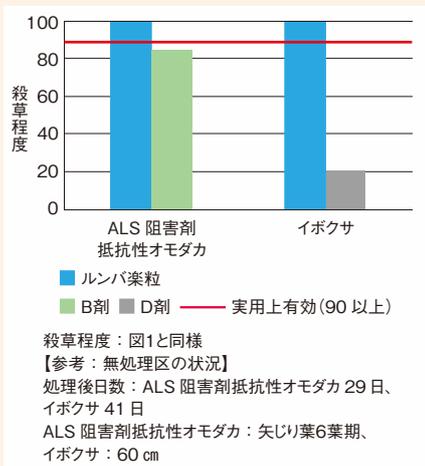


図3 ALS阻害剤抵抗性オモダカ、イボクサに対する効果 (全農 営農・技術センター 2021年、2023年ポット試験)

ており、ノビエの発生を長期間抑えます (図1)。

②種々の抵抗性雑草および特殊雑草に対する高い効果

本剤は、新規のホルモン剤であるフロルピラウキシフェンベンジルを含有しており、薬剤抵抗性を含む広葉雑草に対して高い効果を示します。また、本剤は、SU剤抵抗性イヌホタルイ、SU剤抵抗性コナギに対し、対照剤に優る高い除草効果が認められました (図2)。さらに、ALS阻害剤抵抗性オモダカ、近年問題になっている特殊雑草のイボクサに対しても高い除草効果が認められました (図3)。

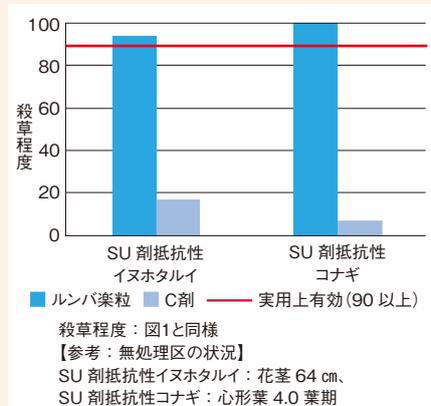


図2 SU剤抵抗性イヌホタルイ、SU剤抵抗性コナギに対する効果 (全農 営農・技術センター 2021年圃場試験\*)

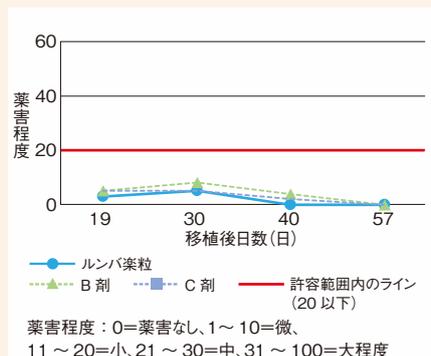


図4 移植直後処理における倍量処理の薬害 (全農 営農・技術センター 2021年圃場試験\*)



③水稲に対する高い安全性

水稲薬害試験の結果、倍量処理でも試験期間を通じて薬害程度は低く、最終調査 (移植57日後) までに完全に回復しました。本剤は、水稲に対して高い安全性を示し、移植直後からノビエ2.5葉期まで安心してご使用いただけます (図4)。

④省力化

新規拡散型製剤である「楽粒」は、拡散性に優れています。水田畦畔からの一辺処理など、圃場内に入らなくても散布が可能であり、短時間で省力的に散布することができます。



このように「ルンバ楽粒」は、①ノビエへの長い残効性②種々の抵抗性雑草および特殊雑草に対する高い効果③水稲に対する高い安全性④省力化といった特長を持つ一発除草剤です。

●問い合わせ先  
北興化学工業(株) 営業部  
TEL.03-3279-5161

【全農 営農・技術センター 農業研究室】

※2021年圃場試験の耕種概要  
試験場所：全農 営農・技術センター 農業研究室 場外圃場  
耕種概要：代かき6月8日、移植6月10日  
試験規模：1.5m×1.5m (2.25㎡)、3反復  
土性：砂質壤土  
減水深：約0.2~0.7cm/日  
薬剤処理：図4 移植直後(6月10日)、  
図2 ノビエ2.0葉期処理(6月16日)  
供試品種：キヌヒカリ(2葉期・19cm)